

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年12月 9日

【評価実施概要】

事業所番号	4070502739		
法人名	医療法人社団 天翠会		
事業所名	グループホーム 高野		
所在地 (電話番号)	福岡県北九州市小倉南区高野5丁目11番1号 (電話)093-451-3611		
評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴2-5-27		
訪問調査日	平成20年12月3日	評価確定日	平成20年12月17日

【情報提供票より】(平成20年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年12月1日(西棟)	平成18年3月1日(東棟)
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計 18 人
職員数	18 人	常勤 14 人 非常勤 4 人 常勤換算 12.3 人

(2) 建物概要

建物形態	(併設) / 単独	(新築) / 改築
建物構造	鉄筋コンクリート	造り
	2階建ての	階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	(有) (100,000 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,333	円	

(4) 利用者の概要(10月31日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名
要介護3	6 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	85.1 歳	最低	71 歳
		最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小倉蒲生病院 ・ 松井病院 ・ 長行中島医院 ・ 八木医院 ・ 徳原クリニック ・ 田中歯科医院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田畑に囲まれた閑静な地域にグループホーム高野がある。広大な敷地の中の家庭的な玄関に入ると、利用者が快適な毎日を過ごすことができるように様々な設備が備えられている。足湯の利用、敷地内の菜園での野菜作りや年間行事などでデイサービスの利用者と一緒に過ごすことも多く日々の生活の活性化にも繋がっている。母体が医療法人のホームで、利用者の健康面の支援も充実しており、穏やかで安心できる環境が整えられている。「笑顔は心身の健康、満足度のバロメーターと考えて接する」「その方らしさを大切に」という姿勢を全職員が共有しており、利用者の自己決定を大切にゆったりと同じ目線で接している。管理者、職員が一体となり知識、技術の向上にも前向きに取り組み、働きながら新たな資格を取得した職員も多い。地域の方が畑で採れた野菜を持って訪れたり、ホームを地域に開放して温かい関係も築かれている。学生や一般のボランティア、中学生の体験学習も積極的に受け入れ、地域に根ざしたホームへの取り組みがなされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価の意義を職員研修で検討し、この一年間全職員が課題を共有し、一丸となって取り組んだことで、前回の改善課題であった、理念の再検討、地域との交流、職員の異動を最小限に抑える取り組み、同業者との交流、終末期に向けた方針の共有、災害対策の6項目全てが改善されている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>事前に自己評価の意義を確認し、自己評価を介護サービスの質の向上に向けた取り組みとして、職員全員が項目を分担し作成し、その後記録を持ち寄り検討し、非常勤の職員も含めた全員の意見が反映された自己評価票を作り上げている。この一連の取り組みにより、日頃のサービス内容の見直し、気付きを促す結果にもつながっている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>地域包括支援センター職員、地域住民、かかりつけ医、利用者代表、家族代表をメンバーに、2ヶ月に一度開催している。事前に参加者の都合を聴くなど開催日の調整を行なっていることもあり、毎回ほぼ全員が参加している。ホームの現況、研修報告等を行うと共にホームへの要望、アドバイスも積極的に聴取している。この会議で得たアドバイスをもとに入浴グッズの個別化など実施に結びつけたものも多い。時には外部講師を会議の場に招いて研修をしたり有意義な運営がなされている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>毎月、介護添え書により利用者の具体的な情報等を家族に知らせている。利用者の様子が伝わる写真を多く載せた季刊紙の発行、工夫された掲示板の有効利用など積極的に情報を発信すると共に、意見箱の設置、運営推進会議で家族の意見を聴き、家族の来訪時には積極的に声かけをし、意見や要望の聴取にも力を入れている。しかし、運営に関する家族の意見はなかなか出てこない。今後は家族会の結成も視野に家族の意見が運営に反映されるような取り組みが期待される。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の夏祭りや盆踊り、秋の大祭に利用者職員と一緒に参加したり、ホームの納涼祭へ地域の方全員に案内し、三分の一にあたる方が参加するなど積極的に地域との交流を図っている。ボランティア、中学生の体験学習の受け入れにも力を入れ、その後文通が続いたり継続的な関わりも大切にしている。ホームのトイレを農家の方に開放したり、農家の方が農作物を持ってホームを訪れたり地域に根ざしたホームへの取り組みがなされている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「安心して生活できるグループホームを目指します」と大きく理念として掲げ、さらに「入居者のニーズへの対応」、「自立支援」、「プライバシーの尊重」、「地域との連携」、「安全管理」と、目指す方向を具体化したものを基本方針として掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を正面玄関に掲示し、毎朝申し送り時に理念、基本方針を全員で唱和し確認しあった後、一日の行動を開始している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域の行事へ参加をすると共に、ホームの行事に地域の方を招待している。地域の方が農作業の合間に農作物を持って来訪し、講演会にも参加されるなど、温かい関係を築いている。ボランティアや中学生の体験学習の受け入れも積極的に行っており、利用者の生活に変化と潤いを与えている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全員が分担して記入し、その後会議の場で検討する等非常勤の職員も含めた全員の意見が反映された自己評価票を作成している。また、評価の一連の過程を通して、日頃のサービスを見直し、気付きを促すことが出来ている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、地域包括支援センター、地域住民代表、かかりつけ医、利用者、家族代表をメンバーに開催し、状況報告、研修報告を行うと共にホームへの要望、意見を積極的に聴き、ここでのアドバイスをもとに、入浴グッズの個別化、アセスメント記録の作成に家族が参加するなど改善されたものも多い。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターやボランティアセンターへ季刊紙を配布しホームの実情や取り組みを伝えている。市の介護相談員制度を活用し、利用者の相談にも対応している。現在地域包括支援センター職員を中心にグループホームのネットワークづくりも計画画中である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	10	権利擁護に関する制度の理解活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるように支援している	権利擁護に関する資料を玄関に設置し、利用者、家族に説明している。また、理解を深める為に、外部より講師を招いて、職員だけでなく利用者、家族、その他運営推進会議のメンバーと一緒に研修会に参加し積極的に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、介護添え書に利用者の状況を詳細に書いて家族に手渡している。また、利用者の生活の様子をおさめた写真を多く載せた季刊紙を発行している。家族の来訪時には管理者、担当職員がホームでの様子を積極的に伝えている。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関の正面に、意見箱を設置している。重要事項説明書には、ホーム以外の相談、苦情窓口も載せ、運営推進会議や家族交流会では家族の意見も積極的に聴いている。利用者一人ひとりに担当職員を決め、意見や要望を表出しやすい取り組みをしているが、運営に関する意見は出てこない。		「お世話になっている」という家族の立場を考えると、要望や不満は言いにくい。家族同士で意見をまとめて家族会として伝えることができればもっと率直な意見が聴けると思われる。結成を支援する取り組みが期待される。
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者が職員の異動を必要最小限に抑える取り組みを行った結果、この一年間異動は無い。2つのユニット間の職員の日々の交流を密にするなど、異動時に利用者へダメージを与えない為の配慮もしている。		
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は職員の募集採用にあたっては性別や年齢などを理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きと勤務し社会参加や自己実現の権利が十分に保障	職員の採用にあたっては、性別、年齢などの制限は設けていない。女性職員のための産休制度を取り入れ、定年後も希望があれば5年間は非常勤として働くことができるなど、職員の能力や経験を活かせるよう配慮している。		
12	20	人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員などに対する人権を尊重するために、職員などに対する人権教育、啓発活動にとりこんでいる	毎月の法人内の研修で必ず議題にとり上げ、行政やグループホーム協議会主催の研修会に参加するなど力を入れた取り組みをしている。職員は人生の先輩である利用者を敬い、尊重した態度で接している。		
5. 人材の育成と支援					
13	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修や法人内での外部講師を招いての研修、毎月一回の夜間2時間の勉強会と、学ぶ機会は多い。外部の研修は職員の希望を優先し、参加しやすいような支援もされている。職員の資格取得にも力を入れ、働きながら新たな資格を取得した職員も多い。新人教育の研修内容も充実し、職員の指導体制も整えられている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
14	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協議会に加入し、近隣のグループホームとの交流を図っている。定期的な勉強会を開いたり、情報交換をする等介護サービスの向上を目指した取り組みをしている。しかし、相互訪問をするまでには至っていない。他のグループホームを見学することで新たな気付きや介護サービスに関するヒントも得られるので、取り組みを計画している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前、昼間の時間帯の体験入居も可能であり、入居後も自宅とホームを交互に行き来し、馴染みの関係を徐々に築いていけるように配慮している。入居当初は利用者との関わりの時間を多く持ち、入居前の生活のベースの把握に努めると共にホームの生活にスムーズに馴染んでいけるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴、経験、興味等を大切にその人らしさが活かせる取り組みをしている。利用者から漬物作りや家事のヒントを教わることも多く、利用者が丹精込めて育てた盆栽、鉢植えが中庭に飾られ、皆の目を楽しませている。家事をしながらの軽妙な言葉のやり取りから信頼関係が伝わってくる。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「笑顔は心身の健康、生活満足度のバロメーター」「その人らしさを大切に」という姿勢を全職員が理解し、共有して意向の把握に努め、利用者の自己決定を優先し支援している。職員は利用者の意向の把握が困難な時は家族の協力を得て、利用者一人ひとりが何をしたいのか考えて支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族、医療関係者、担当職員をメンバーに会議を開き、それぞれの意見を参考に介護計画を作成している。		
19	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月毎に介護計画の見直しを実施し、利用者の状態に変化が見られた時は家族とも相談し、その都度、現状に即した計画に変更している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3.多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体が医療法人なので、診療科別の複数の協力病院と連携し24時間対応の医療支援を行い安心して過ごせる環境を整えている。併設しているデイサービスの利用者や行事や菜園での野菜作り、足湯の利用など合同で行うことも多く、ホーム独自の多機能性を活かした支援で、日々の生活の活性化を図っている。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	4週間に1度定期的に提携医の往診があり健康面の支援は充実している。利用者、家族の意向を大切に、かかりつけ医や希望する医療機関への受診を支援している。通院時の送迎も行い、受診結果はすぐ家族に報告している。		
22	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期ケア対応指針を定め、利用者、家族に説明し同意を得ている。家族交流会でも重度化した場合について話し合う等方針を確認し、共有化を図っている。利用者の状態に変化が見られた時は、家族を含むチームメンバーで速やかに話し合い、対応している。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の個人記録類は一括保管し、定期的に来訪するボランティアからもプライバシーの保護に関する誓約書をとるなど、個人情報の保護、プライバシーの確保には細心の注意を払っている。季刊紙への掲載やホーム内の掲示などに用いる写真についても利用者、家族の承諾を得ている。職員は敬語で話しかけ、同じ目線で対応している。		
24	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日のスケジュールはあるが、利用者のペースを大切に、なるべく意向にそうよう対応している。好みの場所で自由な時間を過ごすことができるように、談話スペース、廊下の長椅子、広々としたテラス等を設けている。買い物、外出、外食も意向にそえるよう配慮している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの食事のペースを大切に、テーブルの座る位置も考慮している。花をあしらった手作りのマットを季節ごとに変えたり、好みの食器を用いたり、食事を楽しむための気配りがされている。今後は検食を兼ねた職員の食事だけでなく、弁当持参の職員も利用者と同じテーブルで一緒に食事をとることを計画している。		
26	57	入浴を楽しむことのできる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴を基本にしているが、利用者の体調、意向を尊重し柔軟に対応している。一人ひとりが好みの石鹸、タオル、シャンプーを使いゆっくり楽しみながら入浴できるよう配慮している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居までの生活歴、興味、意向を把握し、レクリエーションや行事の場など日々の生活の中で、持てる力を発揮できるように配慮した支援をしている。押し付けるのではなくあくまで利用者の自主性を大切にしている。		
28	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの敷地内に、菜園、グランドゴルフを楽しめる芝生の広場があり、戸外で楽しめる機会も多く、ドライブ、ピクニックなど生活に潤いを与える外出の機会を多く計画し実行している。近隣のファミリーレストランに散歩もかねて利用者とは出かけることもある。		
(4)安心と安全を支える支援					
29	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵はかけていない。職員は利用者の習慣や言動から外出の気配を察知するよう努め、さりげなく見守ったり、時には一階のデイサービスの職員と連絡を取り合い、束縛することなく安全が保てるよう万全を期している。		
30	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回行ない、そのうち1回は夜間を想定した避難訓練を実施している。職員はポケットマニュアルを携帯し、災害時にすぐ対応できるようにしている。訓練には運営推進会議のメンバーである地域の代表も参加されることもある。毛布、水、食料などの備蓄も完備している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立票に一食ごとのカロリーを記入し、食事、水分の摂取量を確認し、記録している。一日の必要水分摂取量が無理なく摂れるよう、好みの飲み物を用意し、水分不足に陥らないように配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
32	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部分は、隅々まで掃除が行き届き、明るく気持ちよい空間になっている。廊下には長椅子など、寛げるスペースが設けられている。各ユニットの中庭には鉢植えが置かれ落ち着いた空間になっている。トイレにはシャワー設備があり、清潔感が保たれ、入浴グッズ、トイレのタオルも個別に準備され、居心地よく過ごせるような工夫がいたるところで見られる。		
33	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が、今までに使い慣れた家具や仏壇が置かれ、居心地よく生活ができていく。窓が大きく自然の光がさしこみ、窓を開けると周囲の山々や田畑が一望でき、居室の中から四季の変化を感じることができる。また、家族の宿泊は自由で、いつでも泊ることができる用意がある。		